

科目名	食糧資源論	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 ■選択
英文表記	Food and Resource Economics	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	さかもと ひろし	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	坂本 寛	修得単位	2単位
授業のテーマ	資源の種類について理解し、食糧資源の持続可能な開発について考えられるようになる。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 食糧が資源であるという認識にたち、食糧の有効活用について考えるようになる。 ● 農林水産業が食糧資源の生産現場であることを理解し、農林水産業の意義について説明できるようになる。 ● 資源管理の手法について基本を修得することができる。 		
授業概要	本講義では、食糧が資源であるという認識にたち、資源の分類に始まり、世界の食糧資源の現状分析を行う。食糧資源の生産部門が農林水産業であることを鑑み、食糧需給について考える。資源管理の手法についても考察を進め本講義のまとめとする。		
授業計画			
第1回	再生可能資源、非再生可能資源、環境資源		
第2回	人口爆発と緑の革命		
第3回	世界の食糧資源の現状分析 (農産物)		
第4回	世界の食糧資源の現状分析 (畜産物)		
第5回	世界の食糧資源の現状分析 (水産物)		
第6回	日本の食糧需給表、食糧の品目別自給率の推移		
第7回	輸入食糧の増大と国内農業の課題 (リカードの比較優位論)		
第8回	生産者余剰と消費者余剰		
第9回	農林水産業の多面的機能		
第10回	漁業資源の経済学		
第11回	コモンズの資源管理		
第12回	エコロジカル フットプリント		
第13回	世界が直面する食糧資源問題 (飢餓と飽食)		
第14回	国際社会と持続可能な発展		
第15回	総括		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	授業後に、授業内容をノートにまとめて下さい。(0.5時間程度) 授業中に、課題を配布します。文献、資料を参考にレポートをまとめ次週に提出して下さい。(1時間程度)		
履修条件 受講のルール	配布された課題は、必ず次週に提出して下さい。		
テキスト	「資源経済学」 J. M. コンラッド、岩波書店 (2002)		
参考文献・資料	「有限な地球で人口・食糧・資源・環境」 岩淵孝、新日本出版社 (2010)		
成績評価の方法	レポート50%、定期試験50% 出席が規定に満たない場合、授業料その他納入金が未納の場合は試験を受けることができません。		
オフィスアワー	毎週月曜日・金曜日 14:40~16:40 *これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。		
成績評価基準	平成28年度(2016)以降入学した学生 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)		

	平成27年度（2015）以前に入学した学生 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
学生への メッセージ	資源とは、石油や水だけではありません。食糧も貴重な資源です。しかも食糧資源には、鉱物資源とは、決定的に異なる特徴があります。普段、私たちが口にする食品を資源という視点で見ると、食品の買い物も楽しくなります。